


施設名	和光大学地域連携研究センター 地域・流域共生フォーラム		活動年数	17年3ヵ月
			メンバー数	10名
活動紹介	活動場所	和光大学キャンパス、岡上地域、鶴見川流域、その他		
	活動日	オフィス開室は平日、活動日は週末も含み不定期		
	<p>2008年度に和光大学の取組「流域主義による地域貢献と環境教育」が文部科学省「質の高い大学教育プログラム(教育GP)」に選定され、学内に地域・流域共生センターを設置。2016年の和光大学地域連携研究センター設立に伴い改組した学内機関が本フォーラムです。拠点であるG307室内では岡上で見られる水生動物の生態や標本展示をしています。</p> <p>文部科学省『人材認証制度のニーズ及びマッチングに関する調査貢献』調査報告書(2014)でも、先進事例として紹介されています。私たちは学内外に向けて、おおむね次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域プログラム」を通じた実践的な環境教育の推進 <p>全学の学生を対象に、本学の教育理念とカリキュラム横断型の単位取得制度を生かし、持続可能な社会の「新しい公共」を支える環境シチズンシップ教育を推進し、日本でここだけの「流域環境士」資格を認定しています。環境教育指導者養成の資格認定講習会を年に数回開催し、都市部ならではの「足もとの自然」へのまなざしと、安全に楽しく自然と交流し地域の自然の質を高める実践力を養成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域・流域共生フォーラム」による地域貢献と活動支援 <p>学生と地域の住民・行政・NPOをワンストップで結び拠点・窓口です。自然環境の保全や生物調査、川の掃除など学生の自主活動支援のために機材の貸し出し等を行うほか、行政等と連携して、子どもたちのための教育支援活動や自然観察会などの社会教育の機会を学生とともに地域に提供しています。</p> <p>「岡上丸山特別緑地保全地区管理活動」</p> <p>2013年の川崎市緑地保全条例指定をきっかけに川崎市役所・岡上小学校・和光大学(地域・流域共生フォーラム)が三者協定を交わし、管理計画のもとで整備を進めています。2024年に川崎市制100周年を記念し、川崎市に貢献されてきた方々を表彰する記念表彰が行われた際に、岡上丸山特別緑地保全地区での活動が評価され、「未来賞」に岡上小学校・和光大学が選ばれました。</p>			
2025年度のトピックス	親子自然体験学習(麻生区共催事業)や、RAC(川の指導者養成)講習会、環境教育プログラム「プロジェクトWET」のリーダー講習会、チェーンソー・刈払い機の安全講習会を開催しました。			
課題	地域・流域プログラムおよび各種資格講習会の、より効果的な広報を通じた受講拡大。流域環境士有資格者の活躍の場づくり。川の生き物観察等の野外活動については、今後も十分な感染対策を工夫しながら引き続き開催したいと考えます。			
参加上の案内	年に数回行っている各種の環境教育指導者資格認定講習会は、市民の方も受講可能な場合があります(テキスト代実費)。ご関心のある方は、地域・流域共生フォーラムのホームページやブログ記事(下記URL)をご参照下さるか、直接お問い合わせください。 https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/region.html			
代表者	名前 岩本陽児 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			
連絡先	名前 齋藤透 住所 〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-949-0003 FAX 044-949-0003 E-mail centr@wako.jp			

団体名	和光大学・かわ道楽		活動年数	25年
			メンバー数	12人
活動紹介	活動場所	岡上和光山緑の保全地域とその周辺、鶴見川大正橋付近		
	活動日	毎月第3日曜日、第4日曜日 その他調査活動は随時		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>私たち“かわ道楽”は、鶴見川源流保全活動がきっかけで始まった、和光大学周辺の自然環境を保全している学生と教員のサークルです。</p> <p>活動内容</p> <p>主に雑木林と小川の整備や、希少生物ホトケドジョウの保護・繁殖を行っています。また大学周辺の環境保全をする上で、地域の方々との交流を不可欠と考え、どんど焼きや納涼祭などに参加させていただいています。</p> <p>さらに、私たちの活動は広がり、岡上での植生調査や水質調査に加えて、魚類調査、地域の子どもたちを対象とした鶴見川魚釣り体験教室も行っています。鶴見川流域ネットワーク、鶴見川源流ネットワークの活動に参加して、源流から河口まで鶴見川流域の多くの市民の方々と連携して活動しています。毎年麻生川の冬鳥調査も行っています。</p>			
				
2025年度のトピックス	岡上の寺子屋事業に協力したり、三輪緑山の児童館との連携が進んだりするなど活動が広がっています。			
課題	コロナ感染対策期間の新人募集活動の制限解除後、人数も増えてきたものの、まだ人数が少なく、一方で地域からの協力要請も増えて、忙しい状況です。			
参加上の案内	<p>道楽されたい方はどーぞ！動きやすくても汚れても良いかっこうで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ✓ 寄付金などの受付中 ✓ 和光大学に入学してください <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	<p>名前 宮川純名 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学</p> <p>電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail u24w072n@wako.ac.jp</p>			
連絡先	<p>名前 宮川純名 住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学</p> <p>電話 044-989-7777 内線 4311 E-mail u24w072n@wako.ac.jp</p> <p>ホームページなど https://www.instagram.com/wakokawa2023</p>			



キンラン生息状況調査



おかがみふれあいまつり



岡上逢坂山・お伊勢山定例保全活動



古川公園定例保全活動



水質調査、水生動物調査

団体名	NPO 法人 かわさき自然と共生の会		活動年数	23年
			メンバー数	約50人
活動紹介	活動場所	岡上梨子ノ木特別緑地保全地区とその周辺		
	活動日	毎月第2日曜日 午前10時から約2時間		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>2000年「岡上地区緑の保全地域の指定申出書」を川崎市長に提出し、岡上梨子ノ木緑地を清掃、整備して、2004年に特別緑地保全地区指定実現させたことに始まります。</p> <p>活動内容</p> <p>(1) 緑地内遊歩道整備、下草刈り、間伐、枝打ち、植樹、いこいの広場維持、ヤマユリ植栽普及会の指導のもとヤマユリ再生。</p> <p>(2) 周辺清掃、不法投棄防止の取組み、処理。</p> <p>(3) 自然観察会、ワークキャンプ、研究会、感謝祭、親睦会、交流会開催・支援。</p> <p>(4) 市民館岡上分館、こども文化センター、和光大学、小学校、幼稚園等との交流・支援。</p> <p>(5) 地域のみどりの団体との連携。</p> <p>(6) 行政との協働。</p> <p>(7) 総会、理事会の開催。</p> <p>(8) 会報『ともいき』発行。</p> <p>その他、環境保全と周辺美化に関すること。</p>			
2025年度のトピックス	<p>地域の若い皆様のご協力をいただき、岡上ワークキャンプ（5月と11月）を開催して、また9月の昆虫観察会を開催し、カヤ原管理を行い、2025年も大勢の方が参加してくださいました。今年も和光大学芸術学科のサトヤマアートサンポにも協力しました。</p>			
課題	行政との協働。地域との協働。世代交代。			
参加上の案内	<p>会員でない方の参加も心から歓迎しています。会員募集中。入会金1000円、年会費1000円です（作業用具代、年1度の懇親会、ニュース「ともいき」発行、配布などに使用）。年に2回のワークキャンプのみの参加も歓迎です。</p>			
代表者	<p>名前 堂前雅史 住所 〒195-8585 町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線4311 E-mail dom@wako.ac.jp</p>			
連絡先	<p>名前 堂前雅史 住所 〒195-8585 町田市金井ヶ丘5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線4311 E-mail dom@wako.ac.jp ホームページなど https://sites.google.com/view/okagami-tomokan/</p>			





5月 春のワークキャンプ



9月 昆虫観察会



11月 オカガミアートサンポ



11月 秋のワークキャンプ

団体名	麻生区クールアース推進委員会		活動年数	23年
			メンバー数	12人
活動紹介	活動場所	麻生区		
	活動日	毎月第1水曜日（定例会）と定例会で決めるイベント等の日		
	活動を始めた背景 麻生区区制20周年記念事業として、区役所屋上に太陽光発電設備の設置が決まったことを契機に委員会が発足。区役所と協働で活動を進め、今年23周年を迎えました。			
活動内容 麻生区民に自然エネルギーの活用及び温室効果ガスの削減など地球温暖化防止対策を普及させること等を目的としています。				
<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催（月1回） ・小学校出前講座：寺子屋あさお（7月）、寺子屋くりぎだい（7月）、王禅寺中央小学校わくわくプラザ（8月）、寺子屋はるひ野（2月） ・保育園出前シアター：川崎青葉幼稚園（7月）、上麻生保育園（9月）、高石保育園（10月）、王禅寺しらゆり保育園（10月）、白山保育園（2月） ・夏休みイベント「ソーラークッカーを作ろう」（8月） ・あさお区民まつり出展（10月） ・自然エネルギー学校施設見学会（バスツアー）「太陽光パネルのリサイクル現場を訪ねる」（11月） ・出前講座（成人対象）：神奈川ネットワーク運動あさお（11月） ・23周年記念イベント「地域で問われる再エネ・省エネ対策」（2月） ・里山フォーラム in 麻生出展（3月） ・あさお子育てフェスタ出展「おひさまと遊ぼう」（3月・予定） ・ニュースレター「おひさまだより」52号（10月）・53号（3月予定）の発行 ほか 				
2025年度のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以来、休止状態となっていた保育園の出前シアターを、4月の園長会で講座説明を行い、積極的に再開。5園からの申し込みを受け実施できた。 ・小学校出前講座は、寺子屋はるひ野、わくわくプラザで初めて実施できた。 ・2019年に行って以来休止していたバス見学会を実施できた。 			
課題	活動のボリュームに対する市民委員の不足が課題です。 SNSの活用ができていません。担い手を募集中です。			
参加上の案内	<input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 興味のある方は下記へご連絡ください。			
代表者	名前 児嶋 脩（委員長）			
連絡先	名前 林 恵美（事務局） 住所 〒215-0006 麻生区金程1-13-22 電話 299-6460 FAX 299-6460 E-mail asao.coo@gmail.com 麻生区ホームページから「麻生区クールアース推進委員会」で検索			

麻生区クールアース推進委員会



かわさきSDGs
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

平成14年(2002年)、麻生区区制20周年記念事業として、区役所の屋上に太陽光パネルが設置されたことを機に委員会が発足しました。

地球温暖化問題の解決に向けて、区役所と協働して自然エネルギー、省エネルギーの普及啓発活動を行っています。



麻生区役所屋上の太陽光パネル

月1回、区役所で委員会を開催しています。見学希望、当委員会への質問など気軽にお問い合わせ下さい。麻生区HPに紹介ページを掲載しています。



麻生区クールアース推進委員会
事務局: 林 恵美
✉ asao.cool@gmail.com



保育園出前シアター



寺子屋くりぎだい



夏休み環境イベント



バス見学会



団体名	かわさきかえるプロジェクト あさおてんぷら油資源化チーム		活動年数	16年
			メンバー数	5人
活動紹介	活動場所	麻生区内		
	活動日	不定期		
	活動を始めた背景 きれいな水と空気を未来の子どもたちに残すことを目的に「台所から地球温暖化ストップ！」をテーマに一般家庭から使用済みてんぷら油を回収し、せっけんやBDFにリサイクルする地域内資源循環をすすめ、区民への普及啓発を図る。 活動内容 1. 家庭から出る使用済みてんぷら油の回収とせっけん使用の推進。 2. 回収ポイントである区内こども文化センターで菜の花の栽培を通して交流を深め、イベント等でリサイクルせっけん「きなりっこ」を広める活動につなげる。 3. より多くの区民に資源循環の取組みを知らせるため、各種イベントへ参加。子育て世代には、親子企画を通して楽しく資源循環について学べる機会を作っている。			
2025年度のトピックス	こども文化センターとの連携は、千代ヶ丘、東百合丘、虹ヶ丘、王禅寺、柿生に片平が加わり6センターとなり、4つのこぶんで菜の花の栽培を行っている。東百合丘・王禅寺こぶんで、パンケーキ作りのイベントを行った。 7月に麻生区の後援を得て親子料理教室、11月にかわさき子ども権利の日の市民事業として「せっけんおばけ」の企画を行った。 3月にはあさお子育てフェスタに参加を予定し、子育て世代へのアピールを強めていく。 2012年から始めた菜の花プロジェクトは2025年の収穫をもって終了した。			
課題	使用済みてんぷら油の回収については、麻生区ホームページに回収のお知らせ掲載と区役所ロビーの使用について協働を継続している。親子企画では麻生区の後援をいただき、広報に協力いただいている。こども権利の日の市民事業には川崎市からの補助を得ている。 多忙なチームメンバーが多いため、新たなチームメンバーの増員が大きな課題。			
参加上の案内	チームメンバーは随時募集。一緒に活動しましょう。 ■ 会員募集中（かわさきかえるプロジェクトの会員） ■ チームメンバー募集中 ■ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。 せっけん学習会、親子料理教室などへ、講師派遣もします。			
代表者	名前 門平きょう子 住所 〒215-0024 麻生区白鳥1-16-11 電話 988-2282 FAX 同左 E-mail kado0207@jcomhome.ne.jp			
連絡先	名前 林 恵美 住所 〒215-0006 麻生区金程1-13-22 電話 299-6460 FAX 同左 E-mail em1ha@outbok.jp			

かわさきかえるプロジェクト 2025年度
あさおてんぷら油資源化チームです!



虹ヶ丘こぶん



2025年4月
菜の花の風景



上:東百合丘
こぶん
左:千代ヶ丘
こぶん



せっけんおばけの紙芝居



東百合丘、島貫さん圃場



型抜きせっけんおばけとあわあわおばけ



王禅寺こぶんで紙芝居



子ども権利の日市民事業「せっけんおばけとあわあわで遊ぼう」

団体名	麻生ヤマユリ植栽普及会		活動年数	17年
			メンバー数	15名
活動紹介	活動場所	植栽活動は麻生区内6カ所。 会議は区役所・会議室		
	活動日	植栽活動：各植栽地で月1～2回。 定例会議：隔月第3木曜日。		
活動紹介	<p><目的></p> <p>地元地域で活動しているボランティア団体と連携しながら、ヤマユリの植栽を促進、支援をする。また、その知識の蓄積を図りながらヤマユリの普及を推進すること。</p> <p><活動内容></p> <p>*月1～2回、麻生区内の緑地・公園に赴きヤマユリの植栽及び保全活動を行っている。</p> <p>現在の主な植栽地（協働団体）は ①岡上梨子ノ木緑地（かわさき自然と共生の会） ②王禅寺すぎのき緑地、籠口ノ池公園、下麻生まつのき緑地（木こりの会） ③万福寺おやしる公園 ④区役所中庭と市民館裏 ⑤王禅寺公園（公園愛護会）⑥百合丘第3公園など</p> <p>▲4月29日、麻生市民館で「育苗講習会」を開催、ヤマユリの育て方の講義と実演を行った。また、会員が発芽させた幼苗を参加者31名に無料で配布した。</p> <p>▲ヤマユリの開花展示会を7月4日から9日まで市民館ギャラリーで開催した。入場者入場者は682名に達し区民のヤマユリに対する関心の高さを示し、また育成経験者の来場が目立った。</p> <p>▲11月27日にはヤマユリの「植え替え講習会」を区役所第1会議室で開催した。今回は、抽選の結果27名が出席、質問も多く活潑な講習会になった。また、麻生中学校、百合丘高校など学校関係者の参加があった。</p> <p>▲百合小の出前授業を昨年引き続き10月と12月に行った。5,6年生の園芸委員約20名を対象にプランターへの種まきや育成苗の植え替え方法などを学習して貰った。</p>			
	2025年度のトピックスなど	<p>★7月4日からのヤマユリ開花展示会に合わせて東京新聞から取材があった。記者は王禅寺すぎのき緑地を取材、また松田会長へのインタビューを行い、記事は「<u>百合ヶ丘</u>復活を願うをタイトルに7月3日付けの朝刊（写真付き）に掲載された。</p>		
課題	※次世代への継承 会員の世代交代 植栽地の見直し			
参加上の案内	<p>麻生区に在住し、在勤・在学の方ならどなたでも参加できます。</p> <p>年会費：無料</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 会員募集中 <input checked="" type="checkbox"/> 体験参加者募集中（受入れ態勢あり）★賛助会員として登録可</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	<p>▲松田 肇 住所：麻生区王禅寺東3-8-40</p> <p>電話：090-7904-3112</p>			
連絡先	<p>▲事務局 山田 栄二 電話：090-2565-3390 E-mail:ginjirou10@mte.biglobe.ne.jp</p> <p>▲麻生区のHPのトップページ柿丸君の下、区の花ヤマユリをクリックすると当会の詳しい内容が見られます。</p>			

麻生ヤマユリ植栽普及会

※2025 活動報告



★育苗講習会/幼苗の配布 (4月29日)



★すぎのき緑地 (7月4日)



★開花展示会 (7月4日～9日)

★百合小出前授業(6月16日)



★区役所中庭 (7月3日)



団体名	万福寺人参友の会		活動年数	265年
			メンバー数	20人
活動紹介	活動場所	平素は各会員の栽培地。種の配布と「品評会・試食会」は麻生市民館		
	活動日	種の配布は6月。「品評会・試食会」は12月下旬		
	《活動趣旨》	<p>万福寺鮮紅大長人参（通称：万福寺人参）は、現在の麻生区万福寺とその周辺地区のかつての特産品で、全国野菜品評会において昭和29年から5年連続で日本一になりました。会ではこの人参の栽培と普及の活動を通して、人参を生み出した人々の歩みや風土を深く理解し、次の世代にも伝えていきたいと考えて活動しています。</p> <p>《第26回万福寺人参品評会 - 私の万福寺人参を語り合う会 - 12月20日開催》</p> <p>品評会は、例年「里山フォーラム in 麻生・幹事会」のご支援のもとに開催しています。従来は品評会と併せて試食会も開催してきましたが、第21回より感染症対策を重視して試食会は中止しています。</p> <p>今年度の栽培特徴点は、何と言っても異常気象下での種蒔きを余儀なくされたこと。降雨無しの酷暑続きで土壌の深いところまでカラカラ状態となり、発芽・活着という栽培初期段階のハードル越えが困難を極めました。ここ数年、従来からの種蒔き適期（=7月中旬）を避けて、6月、8月に蒔く人が増えていますが、上記「ハードル越え」の更なる工夫と検証が求められています。また、新しい栽培方法～袋栽培による出品は増加傾向が見られました。</p> <p>気象環境による栽培困難のため、品評会への出品は激減か？と懸念される中、例年と変わらない30近い出品がありました。困難を乗り越えて出品された方々のご努力は大いに称賛されるべきでしょう。</p> <p>品評会では、初めて行った全出品人参糖度測定の結果も含めて厳正な審査のもと、次の各賞受賞者が決まりました（審査委員=長瀬和徳、岩本陽児、東哲也、相澤悟の各氏）。</p> <p>最優秀賞－該当無し 姿（ルックス）賞－鈴木章夫 色彩賞－脇 愛子 香り賞－七久保文男 味覚賞－長沢中学校サポート級 ユニーク賞－岩田柚香（明治大学） 特別賞－金程小学校2年生 特別賞－宮下響紀（明治大学） ※努力賞－出品者全員！</p> <p>審査中、参加者は別室で「私の万福寺人参を語り合う会」を行いました。酷暑少雨を嘆きつつ、明治大学生の今年の実績をメインに質疑が続き、栽培への工夫をしようという意欲に満ちた会になりました。ティータイムでは、日本一になった当時収穫の合間に食べていたという「いか人参」をヘルスメイトが作ってくれ、みんなで楽しむことができました。</p>		
	種の配布	栽培を希望する人への種の斡旋・配布(有料)を6月におこなっています。		
課題等	①麻生区内の学校で取り上げてくれることを重視しています。 ②この人参の遺伝性質と風土性を維持継承するため、地元採種の経験を蓄積したい。			
参加案内	■初めて栽培する人歓迎 ■事務局スタッフ募集中 ■寄付などの受付			
連絡先	名前 岡本 剛介 電話 090-9158-0451 Eメール go-okamoto@ymobile.ne.jp			



万福寺人参の歌

作詞 おおむしやん

作曲 ちびむすぢ
(補作詞)

一、真夏の太陽 照る畑
たせい たせい 芽が出たも
人参これば 心が晴れる
ころころ万福 福かする

※(一・十・百・千・万福寺 大長人参)

二、仰ぐ青空 黒い土
ほたりほたり なかなかし
人参たぐれば 丈夫になれる
うまいと万福 福かする

※(繰り返す)

三、村を廻った人参の
命のちを伝えよう
心あかせおんなごころ
元気に万福 福かする

※(繰り返す)



団体名	麻生区地域教育会議		活動年数	31年
			メンバー数	36名
活動紹介	活動場所	主に麻生市民館		
	活動日	役員会・運営委員会月1回、青空子ども会議11月22～23日		
	<p>活動を始めた背景</p> <p>1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。市民の声をもとに、川崎では地域からの教育改革を目指して、「地域教育会議」が提案され、行政区や中学校区に順次設置されました。麻生区地域教育会議では、地域と学校・行政がともに協力し、子どもがいきいき育つまち、大人が楽しく学べるまちを目指し活動すると共に、区内中学校区での地域学校協働本部活性化に向けて協力しています。</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教育を語るつどい <ul style="list-style-type: none"> 中学校区地域教育会議交流会 2回 教育を語るつどい「川崎市のコミュニティスクールについて」 地域の寺子屋交流会 • 子ども会議（青空子ども会議） 開催場所：黒川青少年野外活動センター <ul style="list-style-type: none"> 「かわさき子どもの権利条例」に基づき、子ども達が自由に考え表現し、交流する場 • さんりんしゃ（広報紙）発行 			
2025年度のトピックス	<p>行政区として、3つの情報交換・交流会を開催。それぞれの立場の課題についても話し合う機会を設けることができました。</p> <p>また、第4回子ども会議を開催し、多くの子どもたちに参加してもらうことができました。本年度も子ども委員の募集を行い、企画段階から参加してもらい1泊2日で行いました。子ども達のいきいきとした笑顔や声、年上の子どもたちが年下の子どもたちの意見を引き出し真剣にまとめていく姿が印象的でした。子どもたちが、自主的に考え、実践していくことの大切さを感じました。本年度も区長に参加いただき、各グループの発表に区長からコメントをいただきました。自分たちの考えを発表できたことは大きな財産となったことと思います。</p> <p>次年度はさらに子ども委員の活動を活発にして開催に向けて活動をすすめていきます。</p>			
課題	<p>行政の制度の変更等の情報共有や対応に時間がかかる。</p> <p>活動を継続し、発展していくためには、参加団体との連携強化と共に、地域教育会議の根幹である住民委員をいかに増やしていくかが課題。</p>			
参加上の案内	<p>□15期の住民委員募集中</p> <p>興味のある方は下記へご連絡ください。</p>			
代表者	名古屋 洋一（議長）			
連絡先	<p>名前 麻生市民館生涯学習支援課地域教育会議担当</p> <p>住所 〒215-0004 麻生区万福寺1-5-2麻生市民館内</p> <p>電話 951-1300 FAX 951-1650</p> <p>E-mail 88asaos@citykawasakijp</p>			

青空子ども会議 2025年11月22～23日 会場：黒川青少年野外活動センター

災害にそなえよう 深めよう ～私たちにできること～

1日目

オープニングは子ども委員の考えた防災クイズ

湯せんで焼きそばができた




被災時のトイレ問題とっても大事なことが分かった






夜のミッション・
昼のミッションの
火おこし体験から
のお楽しみで
焼きマシュマロ



今年度は1泊2日での青空子ども会議でした。小学校3年生から中学校2年生迄22人の参加でした。1日目の体験を基に2日目は自分たちにできることについて考え発表しました。東区長からコメントをしていただき充実した2日間でした。また来年集まりましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

団体名	 公益財団法人 かながわトラストみどり財団		活動年数	41年					
			メンバー数	8,999名 (2025/12 現在)					
活動紹介	活動場所	神奈川県内各地域							
	活動日	定例活動やイベントなど年間を通して活動							
	当財団はかながわのナショナル・トラスト運動を推進し、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。								
最新トピックスなど	<p>■地域活動を支援する「みどりの実践団体」登録できます</p> <p>自治会や市民団体が行う地元地域の公園や緑地など身近な自然を守るための活動に対して、奨励金や助成金の交付、研修等の開催を行っています。</p> <p>■木質資源の有効活用</p> <p>神奈川県内で樹木の「ナラ枯れ」が問題となっています。このナラ枯れ対策として薪型に細断し乾燥をかけ、ストーブ利用者などに寄附返礼品として提供しています。このほかキノコの原木栽培利用もありますが、ナラ枯れ処理だけにとらわれず、樹木管理で出る木材等を有効に活用していくことに取り組んでいます。詳細は財団WEBサイトを確認ください。</p> <p>■機関誌ミドリで情報発信</p> <p>1986年に創刊し、年3回発行している自然環境に関する情報誌です。動植物の生態から自然景観、森林・里山のボランティア活動やイベントなどを取り上げています。多くの方にトラスト運動を周知し、自然環境の大切さを知っていただくことを目指しています。トラスト会員の皆さまにはご自宅に郵送されます。</p>								
課題	<p>会員になると無料の自然観察会や優待施設、会費は寄付金控除の対象となりますので、ぜひトラスト会員にご登録ください。トラスト会員募集中です！</p>								
参加上の案内	<table border="0"> <tr> <td style="background-color: #f9e79f;"> トラスト会員(普通会員) 個人 大人 2,000円 中・高校生 1,000円 小学生 500円 家族 1家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円 </td> <td style="background-color: #76b82a; color: white; text-align: center;"> トラスト緑地 保全支援会員 (任意加入) </td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> 会費は緑地保全や地域の緑化のほか、財団の運営に充てられます。 1年会員 年ごとに会費を納めます 6年会員 5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。 特典：機関誌3回、優待施設、イベント等 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="background-color: #76b82a; color: white; text-align: center;"> 個人/家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円 </td> </tr> </table>				トラスト会員(普通会員) 個人 大人 2,000円 中・高校生 1,000円 小学生 500円 家族 1家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円	トラスト緑地 保全支援会員 (任意加入)	会費は緑地保全や地域の緑化のほか、財団の運営に充てられます。 1年会員 年ごとに会費を納めます 6年会員 5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。 特典 ：機関誌3回、優待施設、イベント等	+	個人/家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円
トラスト会員(普通会員) 個人 大人 2,000円 中・高校生 1,000円 小学生 500円 家族 1家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円	トラスト緑地 保全支援会員 (任意加入)	会費は緑地保全や地域の緑化のほか、財団の運営に充てられます。 1年会員 年ごとに会費を納めます 6年会員 5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。 特典 ：機関誌3回、優待施設、イベント等							
+	個人/家族 3,000円 法人/団体 1口 10,000円								
連絡先	<p>名前 (公財)かながわトラストみどり財団事務局 住所 〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 電話 045(412)2525 E-mail : midori@ktm.or.jp WEBなど ktm.or.jp facebook Twitter 有</p>								

<p>名称</p>	<p>川崎市役所 環境局 総務部企画課</p>
<p>活動紹介</p>	<p>川崎市では、令和4年3月に改定した「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」に基づき、様々な取組を進めています。</p> <p>生物多様性かわさき戦略ホームページ https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000134692.html</p> <p>令和5年7月から9月にかけてスマートフォンアプリを使用した生き物探しイベント「アプリで生き物探し！夏休み特別クエスト in かわさき」を実施し、1万2千件を超える投稿がありました。市民の皆様から投稿いただいた生き物の写真を活用して、デジタル図鑑「みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑」を作成しました。</p> <p>小中学生が使うGIGA端末で閲覧できるよう、デジタル図鑑としています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="288 801 868 1211"> </div> <div data-bbox="879 801 1465 994"> <p>「みんなで見つけた！ かわさきの生き物図鑑」</p> </div> <div data-bbox="879 1010 1465 1202"> <p>イベントで活用したアプリ 「バイオーム (Biome)」</p> </div> </div> <p>令和6年度・7年度には市制100周年記念事業として、全国都市緑化かわさきフェアの開催期間に「アプリで生き物探し！特別クエスト in かわさき」を実施しました。4か月間の開催で、9,000件を超える投稿がありました。</p> <p>令和8年度も同様のイベント開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。</p> <p>全国都市緑化かわさきフェアの閉会式において、終わりではなく次の100年への始まりとして、持続可能なよりよい社会を目指す「みどりのKAWASAKI宣言」を行いました。</p> <p>さらに「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向けて、目標とすべき「みどりの将来像」を描き、その取組の1つとして川崎市は自然共生サイト（民間や地方自治体の活動によって生物多様性の保全・回復・創出が図られている区域）の拡大を目指しています。</p> <p>自然共生サイト申請にご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="325 1742 496 1912"> </div> <div data-bbox="507 1742 804 1809"> <p>環境省 自然共生サイト ホームページ</p> </div> <div data-bbox="879 1742 1050 1912"> </div> <div data-bbox="1061 1742 1465 1809"> <p>環境省 生物多様性「見える化」マップ</p> </div> </div>
<p>連絡先</p>	<p>住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 電話 044-200-3720 FAX 200-3921 E-mail 30kikaku@city.kawasaki.jp</p>

<p>名称</p>	<p>川崎市 建設緑政局 緑政部 みどり・多摩川事業推進課</p>
<p>事業紹介</p>	<p>川崎市では、平成30年3月に「川崎市緑の基本計画」を改定し、基本理念である『多様な緑が市民をつなぐ地球環境都市かわさきへ』に向けて取組を進めてきました。</p> <p>策定から7年経過し、緑を取り巻く環境が大きく変化する中、国が令和6年に都市緑地法を改正し、本市においても全国都市緑化かわさきフェアを契機にこれまで以上に緑への関心が高まってきており、将来を見据え、これからの緑が果たす役割や取組、目標を示す必要があることから、令和10年3月の改定に向けた取組を進めています。</p> <p>川崎市ホームページでは、緑の基本計画改定に係る取組状況について、ご紹介しています。 https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000179230.html</p> <div style="text-align: center;"> <p>川崎市の「みどり」を、これからも大切に守り、育てていくために</p> <p>川崎市緑の基本計画</p> <p>を改定しています</p>  </div> <p>市民のみなさまと育ててきた本市の「みどり」は、かわさきフェアを通して全国に発信することができました。次の100年に向けて、自然と都市が成長し続けるまちを目指して、「川崎市みどりの将来像」を今年度末までにとりまとめます。</p> <p>この将来像の実現や社会状況の変化、これまでの緑の基本計画の成果と課題に対応するため、緑の基本計画を令和9年度末に改定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>1 なぜ計画を見直すの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みなさんの日常に起きている変化への対応 (例) 夏の暑さが厳しくなり日中に外にでれない テレワークの普及等によるライフスタイルの変化 地震や台風など自然災害への備え 身近な自然体験(土や生き物に触れるなど)の機会の減少 ●これまでの取組の成果と課題への対応 (例) 地域にもっと愛される身近な公園づくり 大きく成長してうっそうとした緑の扱い 市民との協働の取組を次世代に引き継ぐ 居心地の良い緑豊かなまちなみをつくる ●みどりが担う多様な機能の発揮に向けた対応 (例)【Well-beingの向上】 健康で、居心地の良い幸せを感じる社会へ 【生物多様性の保全】 人間だけでなく動植物にとってもすみやすい自然豊かな社会へ 【カーボン・ゼロ】 地球規模の気候変動対策に取り組む社会へ </div> <div style="width: 45%;"> <p>2 どうやって検討しているの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ等を通じた意見聴取 トークイベント、ワークショップの開催、シール投票などを行い、みどりに対する想いやこれからのみどりに向けた意見をお聞きしました。来年度も検討の進捗に合わせ、皆様の意見をお聞きする機会を設けます。 ●専門家の先生方による審議会 緑の基本計画は、川崎市環境審議会自然共生部会において、検討を進めています。 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>3 スケジュール</p>  <p>現在 → 2026 → 2027 → 2028.3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提条件の整理等 ・個別施策の検討 ・基本計画のとりまとめ ・基本計画の改定 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>情報発信中！</p> <p>改定関わる取組は、市のホームページで情報発信しています 二次元コードをスマートフォンで読み取りをお願いします。 https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000179230.html</p>  </div> <p>4 ご意見等 これからのみどりについてご意見等をお聞きしています。対面やオンラインにてヒアリング等を実施していますので、下記のメールや電話に連絡をお願いいたします。</p> <p>問い合わせ先 建設緑政局緑政部みどり・多摩川事業推進課「緑の基本計画担当」鈴木まで TEL044-200-1202 メール 53mityo@city.kawasaki.jp <small>※チラシ内のイラストは生成AIにより作成したものです。</small></p>
<p>連絡先</p>	<p>住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 電話 044-200-1200 FAX 044-200-3973 E-mail 53mityo@city.kawasaki.jp</p>

里山フォーラム in 麻生の紹介

●2001年に各活動団体から委員を募り実行委員会として発足。

〈こんな思いで〉

◆麻生区の足元の水と緑を、老若男女誰もが関わる里地(農地)里山(樹林地)として、その環境と文化をはぐくみたい。新しいライフスタイルを模索しながら、都市化が進む中であっても、緑や環境を守り、持続可能な未来を目指したい。

〈こんなことをだいにしながら活動〉

■交流:各活動の場に関わる人々や団体、学校、行政機関が交流し、課題の共有を図る。

■学習:里地・里山文化を再発見しつつ現在の活動を通して人材を育成する。また、流域を意識

し、生物多様性を目指す。

■情報:これからの自然と人間の共生を考え、実践していくための情報の受発信をする。

●実施事業 *里地里山カフェ塾(からむし-苧麻、万福寺人参、麦) *里地里山ナチュラルリスト養成講座 *あさお里山こどもクラブ *わたしのまちのホッとする風景写真展-今編、昔編 * “里山フォーラム in 麻生”

麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事(担当:麻生区生涯学習支援課)として開催。事業運営を幹事・スタッフが力を合わせて担うボランティア活動です。

幹事会 代表 堂前雅史 事務局長 石井よし子

今年度のちらしから一部紹介

おやこ だの
親子で楽しむ
「からむし」ワークショップ
せんいほっけん
「繊維発見！」
8月2日(土曜)
あさおしみんかん りょうりしつ
麻生市民館 料理室
午前9時30分~12時
そもそも植物の「繊維」って?
縄文人はどうやって見つけたのかな?
私たちもチャレンジ!
応ゆけのミニ箸を作ろう☆
縄文時代に 通る 編布の作品なども紹介

あさお 里山こどもクラブ
ふるさと麻生の自然体験プログラム 見て 感じて 遊ぼう!
① 10月19日 つなぐよいのち 昆虫の知恵? 植物の知恵?
講師 高柳芳忠 (ナチュラルリスト・絵本作家)
会場 麻生市民館料理室
② 11月2日 早野の自然に出会う 木や竹を遊んでみよう
講師 早野聖地公園里山 ボランティアの皆さん
会場 早野聖地公園
③ 11月16日 身近な植物を知ろう 何が分かるかな? ワクワク
講師 山田 晋 (東京農業大学農学部教授)
会場 おつ越し山一特生の里
④ 12月7日 柿生の里の収穫祭 冬の里山の準備 & 遊ぼうパンなど楽しもう
講師 柿生の里クラブの皆さん
会場 柿生の里

第26回 万福寺人参品評会
-私の万福寺人参を語り合う会-
・期日 12月20日(土曜日)
第二十回 わたしのまちの
ホッとする風景写真展
今編 昔編 応募 受付中

里山フォーラム in 麻生
-里山いっぱい麻生-
里山で 汗する人 喜びあふれる人 生き生きする人
たたずんでいる人 お役に立ちたいと思っている人
みんな来てね 会ってみよう 知ってみよう 語り合おう
日時:2002年3月17日(日)
午後2時30分~6時
(受付は午後2時から)
場所:麻生市民館大会議室
プログラム
*アトラクション:長沢お雛子保存会
*記念講演:「里山の風景から」
麻生恵(東京農業大学教授)
*パネル発表・フロア交流
*展示ブース交流
*終了後懇親会(懇親会費800円)
主催:里山フォーラム in 麻生実行委員会
麻生市民館
後援:川崎市環境局
里山フォーラム in 麻生事務局:石井 佐々木 長井 岡本 橋本
お問合せ先:麻生市民館 社会情報課 045-651-1300 Fax 051-1650
・参加費無料 ・当日参加自由(事前申し込みの必要はありません)

「フォーラム資料集25」も小学校、団体・施設ともカラー冊子にしました。紹介カードからはそれぞれのあつい気持ち伝わって来ます。気づかされること、参考になることも満載です。原稿をお寄せ頂いた皆様様に深く感謝します。ぜひじっくりお読みください。
左の薄緑色のちらしは2002年のフォーラム開催のものです。初めて多世代、多様な分野の方々が集い語り合えた喜びが渦巻いておりました。これからも笑顔で大地に根差して行きましよう。
編集 里山フォーラム in 麻生事務局長 石井よし子
(入稿原稿作成補 角南ゆり絵)

“2026 里山フォーラム in 麻生（第 25 回）”

資料集 25

発行日 2026(令和8)年3月7日

編集・印刷・製本 里山フォーラム in 麻生

※本資料集の内容を参考にする場合はご一報頂ければ幸いです。
無断転用などをご遠慮ください。→ 連絡先 里山フォーラム in 麻生
E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070 - 6426 - 6123

令和7年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業
主催 里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)
麻生市民館 TEL 044-951-1300